

2019 東京会議宣言

今回私たちは、ここ東京・足立の地において、地域の力・強みを活かした連携のかたちを学び、アイデアを語り合いました。

1992年の第1回大会より、私たちは環境政策の発展を目指して取り組んできましたが、近年は地域における環境政策の位置付けが相対的に下がっているとの向きもあります。

その一方で、自立分散型社会の概念として政府から「地域循環共生圏」が提示されました。このことは、地域資源を活用した持続可能な地域づくりと地域間連携を進めてきた私たちの動きが、国内で主流化していくことを期待させます。

また、パリ協定やSDGs：持続可能な開発目標の採択を受け、「世界の中の日本・地域」を意識する必要性が高まっています。

環境政策を取り巻くこうした変化は、まさに大転換の好機といえます。

そこで、本大会の議論の成果、そして環境自治体会議 27 年の歴史を踏まえ、私たちは次のことを宣言します。

- 自治体に加え、商工業者や青年会議所、町内会など新たな仲間と手を携え、若い世代も主役として活躍するネットワークを築きます。
- 目指すべき持続可能な地域の姿を明確に描き、それを実現する手段として、SDGsを有効に活用します。
- ネットワークの強みを活かし、地域間・セクター間の連携による取り組みの実践・交流を進め、持続可能な社会への転換をリードしていきます。

ここに集った私たち自身、そして次の世代が、新しい時代の作り手であることを自覚し、「手をつなぎ、持続可能な地域づくりを次のステージへ」確実に進めていくことを宣言します。

令和元年 5 月 21 日
2019 東京会議参加者一同